



宮崎の 「がんに関する教育」

生涯のうち国民の二人に一人がかかると推測される「がん」は、本県の進める「健康長寿社会づくり」においても重要な課題の一つであり、健康に関する基礎的教養として身に付けておくべきものとなりつつあります。

このような状況の中、健康生活を脅かす「がん」についての理解を深め、「がん」を学ぶことを通じた健康教育を推進することが強く求められています。

そこで、学校において「がんに関する教育」を更に推進する上で基本となる考え方や重要となるポイント等について整理しました。



「がん」について学ぶことを通じて、健康教育を推進することが大きな目的です。

目指す子どもの姿

がんを理解し、
健康といのちの大切さを考える 子ども



目標

〔保健学習を中心に〕

がんに関して、正しく理解できるようにする。

〔学級活動(LHR)、総合的な学習の時間、道徳の時間を中心に〕

健康といのちの大切さ(がんを含めた病気に関する内容)について主体的に考え、行動できる態度を育成する。